

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6  
サンコート新千葉102号

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2017年1月10日発行 第83号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>

# ぐらふと 房総



## 子ども・子育て・地域の声をリアルにつかみ、発信し ネットワークをもう一步広げ、 子どもの課題解決に向けよう！

子ども劇場千葉県センターは、2016・17年度の方向性として「団体正会員や県内団体とのネットワークで連携、協力を積極的にすすめる、提言や行政の施策に反映させること」を持ち、事業を展開しています。

今号では、去る11月3日、千葉市きぼうで開催された、千葉県センターが連携する、子どもの虐待防止ネットワーク事業「ちばこどもおうえん広場」シンポジウムからレポートします。千葉で育った若者たちの生の声は、県内各分野で働き、活動する人たちの心にもすぐに届き、「これからやるべきことにつながった」との感想が寄せられています。

何らかの困難から子どもや養育者が「生きづらさ」を感じている声がチャイルドライン、ママパラインにも寄せられています。子どもが人知れず深く傷ついてしまう場合もあります。さまざまな社会の状況を考えると、改めて、子ども、若者がのびのびと自分自身を表現できるようなメッセージを送ること、表現できる場をつくること、声を受け止める大人であること、そう務めながら、子どもに関わる団体のネットワークを一步でも進め、子どもの課題を解決していくことが求められます。

### シンポジウム

「児童養護施設で育った当事者が語る  
施設生活と今」レポート

11月3日(木) 参加者 108人

### パネリスト

阿部俊幸さん(新聞配達をしながら役者の修行中)

石橋涼子さん(3人の子育てに奮闘中)

川瀬信一さん(児童支援施設内生実学校教師)

### コーディネーター

光元和徳さん(ちば心理教育研究所長)

◆親子に血縁があっても無くても、子どもの育ちに家族として機能している場はあるか、そして家族の機能とは何かが問われているのではないか。

光元：今日はパネリストの話を「児童養護施設で育ったにも関わらず・・・」「・・・だからこそ・・・」をききたいのではないかと思う。まず、自己紹介と、どういうことがあって施設に行ったのか話してほしい。

◆子どもの困っている状況、境遇をわかってくれるおとなとの出会いこそ大事だ。

光元：家でも大変、施設でも大変、大変な生い立ちです。中1の時の先生の言葉「海のような広い人間になれ！」はずばらしい言葉。人を支えるのは何か。虐待の連鎖について、世代から世代への連鎖の割合は1/2と1/4と言われる。逆に言うと、それ以外は連鎖しないということだ。自分の困っている状況をわかってくれるおとな、まともなおとなとの出会いこそ大事だ。その子の境遇をわかってくれる保育士、近所の人、親戚の人がいれば連鎖は防げる。

石橋：自分はごはんに飢えている子だったそう。3才の時に施設に入ってガツガツ食べていたらしい。本当にごはんが嬉しくてガツガツ食べていた。

川瀬：両親と9つ離れた弟がいる。小学生の頃、ゴミ屋敷で風呂に入れず、ごみの上で寝ていた。母は多動傾向のある私に暴力をふるった。いろいろな子の家に遊びに行った。政治家、フィリピンの人、おばあちゃんじゃない人、同級生。誘ってもらってよくしてもらっても家に友達を呼べなかった。普通の家に暮らしたかった。友達達の誕生日会に行き、遅くなったとき、母親がたまたまシチューを用意していた。怒られてシチューを頭からかけられた。次の日、シチューが身体についたまま学校に行き、先生に見つけられ、児童相談所に一時保護された。

一度目はそのまま家に戻されたが、ゲームセンターで過ごしたり、万引きなどをした。6年生でまた一時保護された後、児童養護施設か、里親家庭かを選ぶことができたとき、友だちを家に呼べるようにと里親を希望した。

里親は自分を家族として受け入れようとしてくれた。自分も雨戸を閉める、花に水をやること等、家での手伝いをがんばろうとしたけどできなかった。流行っていた筆記具を買ってもらえず、里親の貯金箱からお金をとった。児相の一時保護所で



心理司と話しているとき、自分は生活習慣が身につけてないからできないことがわかった。施設には抵抗がなかったので児童自立支援施設に移り、1年して一宮学園に移った。中1で「学園の子」と言われるのがいやで、不登校になった。学校に行かないからといって施設職員は強要しなかった。気持ちは安定していた。

◆施設で暮らしたことをどう感じていますか？

石橋…小学校に入ってから恥ずかしいおもいがした。「なんでこんなところにいるんだろう！」と思った。18で卒業するまで恥ずかしさは続いた。そのことを友達に話したら「ネグレクトされた子どもたちかわいそう！」と泣いて言った。そのことがまた恥ずかしかった。今は全然そうは思わない。今思うと、自分では「かわいそうじゃない」と思っていたのに「かわいそう！」と言われたことがイヤだったんだと思う。

川瀬…よくわかる。施設の子、学園の子も色々な子がいるのに、「当事者」と一括りにされることがある。一人の子が施設の文句を言ったりすると「施設ってたいへんなんだ」と思われたりする。中には衣食住が満たされて安心する子もいるのに。

光元…石橋さんはどうですか？

石橋…誕生日が祝われたこと、相談できる仲間があったこと、栄養バランスが良かったこと、飯があったことは嬉しかった。就職活動がイヤで逃げたことがあったが、園長先生は見捨てなかった。

★参加者の感想から一部を抜粋★

- ・話ができるまでたくさんの心の作業が必要だったと思う。大切な自分の現実を語っていただきありがとうございます！
- ・施設の子どもたちを身近に感じ、「心から信頼できる大人」がいることで、安心して自立していけることがわかった。
- ・学校内では多様性が認められず、内々に「偏見」を秘めるおもいがあると思う。
- ・母として保育士として、今日のお話を保育園にも持ち帰り、活かしていきたい。
- ・ソーシャルワークを学ぶ学生として、傾聴の大切さ、行動の中の意味をさぐっていく大切さを学べた。



辛かったことは、友だちはしていないのに、掃除、洗濯、草むしり、強制のマラソン大会。集団で生活するので、決められたルールがたくさんあったこと。

光元…依存することが禁止され、自立が求められたのかな？そのことをどう感じていましたか？

石橋…みんなは遊べていいな、と感じていた。次の日に、学校でテレビの話など、友だちの話についていけなかったりした。

光元…話をきいて、施設はいいな、と思うこともあり、集団生活のルールが保障ではあるが、もう少し甘えさせてあげてもいいな、と思うところもあります。石橋さんは「自分の子どもが9歳だとそういうことが頭にちらつくかな？」

石橋…自分の子には何もやらせていない。やらせてないことに抵抗感はない。言ってもやらないので、自分でやってしまう。

◆施設の生活でよかったことはありますか？

阿部…食事、寝るところがあっただけで嬉しい。友達とどうやったら仲よくなれるか。相手の好きな話に合わせたり、スポーツと一緒に楽しんだり、バンドも一緒にやったり。掃除、家事、チャリントコを直すことは自立した時に役に立った。これからは卒園した子どもたちに教えていきたい。職員になることも勧められたが、今はややくそでも、「オレはこうなる！」という姿になりたい。子山ホームに親孝行になるかと思うので。本当に感謝している。

光元…阿部さんは「友達をつくらう」と思った。自分から寄り添っていいこうとしたんですね。

待つていても友だちはできない。相手の関心のあることに関心をもつことは「愛」の第一歩。自分のことにしか関心をもたないのは「自己愛」だと思ふ。親が子どもの関心があることに関心を持つ。つまり「愛」があると、その子も人に関心をもち、愛せるようになる。衣食住を保障されることと他への関心をもつことにつながる。

◆今のこと、今後のことで「是非やりたい」と思うことは何ですか？

石橋…とりあえず子どもたちを大学まで行かせたい。自分がやりたくてもできなかったことをやらせてあげたい。それぐらいかな。

光元…子どもから「ママのお父さんお母さんはどうしたの？」と訊かれて「いないんだよ」と言う時悲しいとか、いつか話そうと思うことはある？

石橋…たまに施設にあそびに行った時には、「ママはここで育ったんだよ」と答えている。訊かれたら答えたい。

光元…人間は自分のルーツを確認しないと生きられない。子どもたちが訊いた時には話してあげてほしい。そうすれば自分の人生を生きていかれる。阿部…こんど船橋宮本公民館で、「劇団十夢」の公演がある。演劇を2年やっていて、ダブル主演をやる。合唱、殺陣もあるので観にきてほしい。

川瀬…私は問題意識とやりたいことが三つある。  
①社会的養護で育った若い人たちのためのシェアハウスをやりたい。衣食住のうちでは「住」に困る人が多い。  
②当事者の声はどこにあるのだろうか。施設や里親での生活をいいと思っている人、しんどいと思つた人、自身の育ちをどう感じているのか。今年中にインタビューサイトを立ち上げて当事者の声を知りたい。

③施設職員の教育に携わりたい。施設の認知は進んだ一方、現場では若い人がどんどんやめる。仕事が生んだいからだろう。前向きな側面がある中で、ひとりひとりの負担が高まっている。10年20年先に、血縁がなくても子どもが育つようにしたい。

光元…今日は、血縁があつてもなくても、一人一人があるがままに受け止め、家族として機能する大切さを感じることができ、胸が熱くなりました。ありがとうございます。(大きな拍手)



「子どもゆめ基金助成活動」

あそびや芸術が現代の子どもの現状を変え切り開く！

アートは年齢や経験は関係ない、大人だから必ずできるといってもない、男女も関係ない、始める時期も関係ない、だからこそアートが大事

子どもゆめ基金助成による「長期入院や福祉施設の子どもたちが笑顔になるあそびワークショップ体験」事業を終えました。好きな材料を好きなだけ使った工作は、入院中ではあっても満面の笑顔の瞬間と集中して楽しむ子どもの姿があり、かけがえのない時間となりました。また、児童福祉施設の子どもたちは笑顔ではしゃいで遊び、自由に思い思いの作品をつくり、ストレスを一気に発散できました。仲間とあそぶ体験や、自由度の高いワークは、子どもたちを安心させ、子どもの内面に変化をもたらし、かかえている困難を切り開くすぐれたツールだとの認識を強くしました。



病院名・施設名	実施日場所時間	内容・指導者 4人×9か所	参加人数 229人 (子ども 150人 大人 79人)
国立病院機構下志津病院	7月27日(水) 15:00~16:00 療育訓練室	「楽しい工作 みんなで作ろう！」あみあみ工作 ロパク恐竜	総数 13人 (子ども 11人 大人 2人)
千葉大学医学部附属病院	8月19日 ①9:35~10:45 クリーンルーム ②10:45~11:50 小児一般プレイルーム	「ワクワク工作 作ってあそぼう」 紙コップのコマ スポンジケーキ	総数 28人 (子ども 9人 大人 19人)
千葉県こども病院	8月29日(月) ①7F13:30~14:30 ②6F西 15:30~16:00	「夏休み！みんなでわくわく工作」 プリンカップゴマ ビーズのキーホルダー	総数 30人 (子ども 15人 大人 15人)
国立病院機構千葉東病院	9月16日(金) プレイルーム・学習室 15:15~16:15	「手作り工房~わくわくドキドキ作って遊ぼう!!」 ロケット的あて	総数 18人 (子ども 8人 大人 10人)
成田赤十字病院	10月4日(火) 10:00~11:30 クリーンルーム廊下	「秋のお話し会」 手遊び 大型絵本	総数 21人 (子ども 9人 大人 12人)
千葉縣市川児童相談所	10月19日(水) 2F講堂 ①9:30~10:30 ②10:45~11:30	「表現ワークショップコミュニケーションあそび」 劇団風の子 大潤弘幸	総数 28人 (子ども 24人 大人 4人)
千葉県柏児童相談所	10月20日(木) 食堂 ①9:30~10:30 ②10:40~11:40	「表現ワークショップコミュニケーションあそび」 劇団風の子 大潤弘幸	総数 28人 (子ども 22人 大人 6人)
千葉県中央児童相談所	10月25日(火) 10:00~11:10 食堂	「見たことのない生き物をつくろう」 ひぼぼたあむ 永野むつみ	総数 30人 (子ども 25人 大人 5人)
千葉市児童相談所	10月25日(火) 13:20~14:40 スポーツひろば	「見たことのない生き物をつくろう」 ひぼぼたあむ 永野むつみ	総数 33人 (子ども 27人 大人 6人)

活動の振り返り

人的基盤の強化が事業を推進し持続可能にします

◆なくてはならないコーディネーターの存在

病院や福祉施設と芸術家や指導者を、専門的な知識を持つつなぎ、様々な困難や起きてくる問題を解決し、連絡し、調整するコーディネーターなくしてこの事業は成り立ちません。子ども劇場千葉県センターでは、「子ども文化地域コーディネーター」と呼び、現在20名が登録しています。実施が決まった病院や福祉施設には直接伺い、子どもの状況やニーズの把握をします。また、実施に向けてのリスクをできるかぎり回避し、問題があれば知恵を出して解決策を提案します。ワークの内容やプログラムもニーズに添って決め、指導者との綿密な打合わせを繰り返します。相互にミスマッチがなく、安心して実施できるよう、緊張感をもった調整が求められます。当日は、指導者にも子どもにも目を配り、気を配り、ワークの現場が、かけがえのない最高の1日になるようにします。

◆子どもに寄り添う指導者の存在

病院・福祉施設・子どものニーズに添ったプログラムを考え、当日子どもに適切な指導をする指導者の存在もまた重要です。子ども劇場千葉県センターでは、病院の近くで指導者を発掘し、今現在22名の指導者が登録しています。子どもの病状、年齢等、ありとあらゆる場面を想定し、当日まで手作り工作等の試作を繰り返し、何があっても柔軟な対応ができるよう、万全の準備をして臨みます。ガイドラインにある「子どもの自己決定を最優先する」「一人一人の子どもの達成感や満足感を得られるよう、子どもの気持ちや各自のペースに寄り添う」「気持ちいが安らぎ、笑顔がうまれる遊びやアートを心地よく体験できるように、子どもの言葉を大切に聴き、表情を読み取り、共感する姿勢を持つ」ことを大切にしています。

こうした周到な準備により、おだやかで温かな雰囲気をもった指導者として子どもたちを迎えます。子どもたちが安心して自分の思うがままにあそび、作品作りができるように寄り添う指導者の存在がこの事業を支えています。



狂言 わっ はっはっはっ



チカパン あれ！？かべがあるみたい！

**八街市 二州小学校** 10月14日(金)  
34人(5年生) 国語  
芸術家: 大藏教義 宮本昇 上田圭輔  
内容: 狂言についての話し、狂言「柿山伏」の上演、登場人物クイズ、装着着付け体験、構え・摺り足・発声

緊張してごちなさが目立ったが、だんだん笑顔がおこり、登場人物クイズの“蚊”で大いに盛り上がった。「柿山伏」の上演では、5年生はふれていなかったこともあり、講師が大まかに説明して狂言を楽しんだ。休憩時間に舞台裏に皆で駆け込むと扇子・小道具に興味津々。装着着付けでは、なんと15人の男子の手が挙った。最後は、「女の子でもできるの?」「どのくらいでできるの?」「お客さんは何人くるの?」質問が次から次にだされた。

**成田市 新山小学校** 10月21日(金)  
67人(3,4年生) 音楽  
芸術家: BBモフラン ダウディ 典子  
内容: アフリカのパーカッションの実演と歌、たいこの体験

モフラン登場、子ども達から拍手と「えー！わー！」の声。演奏の初めは緊張した顔で聞いている。いよいよ太鼓の体験。恥ずかしそうな女子チーム、モフランに教えてもらいながら少しづつ自信をつけてきた。もう周りを見回すことなく叩いている。男子はいきいきと元氣よく叩く。「手が痛ーい！」と訴えている。そのうち順番を待っている2人の男子のノリノリが止まらない。ロールのリズムのところではひっくり返って足をばたばたとしている。短い時間だけど好奇心いっぱいの嬉しそうな表情。最後の「ハクナマタ」のダンスで心も体も解放されていた。

**佐倉市 白銀小学校** 10月11日(火)  
70人(3・4年生) 音楽  
芸術家: 歌子 びんたろう 上村純  
内容: 歌とギターパーカッションの実演 白銀小文化祭に向けて「森のおくりもの」を歌う。

音楽合唱のレベルの高い学校だが、「音楽を感じて歌う」というテーマにより、音・リズム・歌う楽しさを感じ、気持ちを含めて歌うことができた。音楽のイメージは今までは、単に「歌う」だけだったか「感じる」という要素を加えてもらってうれしかった。歌があまり得意でない子も自発的に体を動かし手拍子をしてリズムに乗って歌うと楽しくなると感じた。色々な楽器を見たり、ギターの生演奏はあまり、聴くことがなく新鮮だった。

**山武市山武北小学校** 10月14日(金)  
39人(1,2年生) 体育  
芸術家: チカパン  
内容: パントマイムの実演、簡単なパントにチャレンジ、小さな作品創りと発表

パントマイムの実演「かべ(壁を想像) どん(ぶつかった)」をする。「いたくないの?」と子どもたちから声が出る。みんなも挑戦。壁にあたって一音に転ぶ、おでこをすりすり。こんどは硬い壁だ！ドリンクを飲んで元気を出す、線を書いてドアを開ける、やったぞポーズ！すっかりパントマイムの世界へ入っていった。「パントマイムはね、真似をする」という意味だよと教えてもらう。「どうしてそんなに上手なの?」「好きだから、みんなも好きなものを見つけようね!」すっかりチカパンの人柄とパントマイムの楽しさを感じた子どもたちだった。

**成田市 豊住小学校** 10月22日(土)  
57人(全校) 特別活動  
芸術家: 大淵弘幸 岡本圭  
内容: コミュニケーションを体験する遊び、伝言ゲームなりきりかくれんぼなど

始まってすぐ「自分の思ったまんまでいいんだよ」と話す大淵マジックにかなり体育館狭すと走り回り歓声をあげる。それぞれ自分なりのポーズをとったり友達と組になって表現したり、どの子も笑顔 笑顔。先生方の伝言ゲームにも身体を揺すって大笑い。普段はシャイな子もお互いにコンタクトをし合い、講師の的確な声かけに反応する。「なりきりかくれんぼ」は次々飛び出す子どもたちの発想とそれを受け止める講師のやり取りで盛り上がった。

**野田市 川間小学校** 10月11日(火)  
71人(5・6年生) 総合的な学習  
芸術家: 東京シティーバレエ  
内容: バレエを楽しむ。バレエの歴史やレッスン風景。ステップの体験。マイムや衣装や踊りの解説。一緒にバレエを踊る。

バレエのレッスン風景に目を見張り、一緒に柔軟体操をしているうち緊張した様子がほぐれ、ステップと一緒に踏み、バレエの世界に自然と入っていた。気持ちを表現するマイムの体験では「むずかしい」から“おもしろい”になり、コッペリアのバレエシーンではひとつひとつの手の動きや表現にそんな意味があったのかと理解して見ていた。男性のダンサーに親しみを感じ最後のバレエ体験では男の子たちも楽しんでた。まじかに見て驚きや感心でいっぱい、興味がわいてきた等、様々な心の動きと発見があった日でした。

**市原市寺谷小学校** 10月15日(水)  
42人(3,4年生) 国語  
芸術家: チカパン  
内容: パントマイムを観る 誰にでもできるパントマイム体験 小さな作品づくり

「マイムは言葉なしで表情と体でお芝居。自由なんだよ!」と次々と表現するチカパンをみて、子どもたちは、かべ、エスカレーター、トランク、ドアに挑戦。休み時間も、にわか舞台の幕の袖に行列をつくり、次々に下りエスカレーターを試していた。いよいよ8人組になって3分間で「かべを伝ってドアを開けると何かの世界があった」の作品づくりでは、海、星空、学校・・・と全グループが表現し、答えあい、拍手しあった。「ふしぎなまじかになった。とうめいなものもみえた」「むずかしかったけどおもしろかった」の声がたくさんでいる。

**市原市 国府小学校** 10月24日(月)  
35人(4,5,6年生) 国語  
芸術家: 三遊亭時松 古今亭志ん八  
内容: 落語の楽しみ方 高座に上って小唄体験 落語(てんしき 牛ほめ)を聞く

全員参加の「だれがどこでいつ何をどうしてどうなった」ゲームで大爆笑。「みんなが笑えたのは想像できたからだよ、落語はデタラメなありえないようなお話。みんなのセンスで笑いのツボはちがうから、どこで笑ってもいいよ!」の巧みな導入で、一気に「なんかおもしろいことが起きそう」といった場の空気ができた。高座にあがっての小唄「パン屋さんはどこ? その角をマーガリン」「冷やし中華まだ? 今冷やし中」に新しいバージョンが加わりクラスで流行っているとか。

**野田市木間が瀬小学校** 10月12日(水)  
88人(5・6年生) 音楽  
芸術家: BBモフラン ダウディ 典子  
内容: アフリカの音楽を歌とパーカッション、ピアノ、ギターで実演。ことばのクイズ。ダンス。パーカッション体験

緊張していた顔がトーキングドラマで笑顔になり「おもちゃのチャチャチャ」に足踏みで乗ってきた。はじめて触った太鼓の革に毛がついていたので「もふもふだ〜と、盛り上がりたり、隣の太鼓も叩いて音が違うと発見もあり「トンカツ、たべる」「キャベツ」とおもしろい覚えやすいリズムで全員がセッションを楽しんだ。ダンスもみんな盛りに盛って、もっとやりたい様子。リラックスして文化で遊んだ国際交流の時間となっていた。バラードの曲はしっかりと感動していた。

**横芝光町南条小学校** 10月17日(月)  
55人(1・2・3・4・5・6年生) 体育  
芸術家: 大淵弘幸 岡本圭  
内容: とんとんば・色鬼・表情伝言ゲーム等表現・コミュニケーションあそび

これから何をするか? 「遊びます」「遊ぶと心が動くから」と大淵さん。☆とんとんば☆いろいろ色おに☆震源地ゲーム震源地はだれ? ☆なりきりかくれんぼ☆縦割り活動班で伝言ゲーム全校生徒皆で思い切り遊んだ。みんな溶け込んでいきコミュニケーションをとりながら楽しんだ。ジュエチャーゲームでは喜怒哀楽の感情を爆発させている様子もみられた。「皆が笑って皆の心が動いていた。」との子どもの感想。相手の思いを受け止めることを合言葉に活かしたところ、実際に歌声がよくなった。

**千葉市 横戸小学校** 10月26日(水)  
48人(1・2年生) 特別活動  
芸術家: チカパン  
内容: パントマイムを観る。パントマイムにチャレンジする。小さな作品作り発表

最初はパントマイムって何だろうと思っていた子もやっけていくうちに、こんなに面白んだと思えたようで、だんだん笑顔で表現するようになった。グループごとの作品づくりでは、「みんな同じでなくていいんだよ」というチカパンのアドバイスに、創造力をはたかせ自由な発想や工夫がみられた。普段あまり集中できない子や、学習への意欲がない子もパントを楽しみ、発表もみんな協力して披露できた。教室に戻ってからも友達同士で、家にも帰ってからも自慢げに家族の前でパントを見せ始めてもらったようだ。

**成田市 八生小学校** 10月13日(木)  
9人(6年生) 音楽  
芸術家: 歌子 びんたろう 上村純  
内容: 『翼をください』を歌う 先生がベースギターを弾き講師との演奏を伴奏にして皆で歌う。楽器にさわる体験

9人の声が歌子さんのリズムをとって歌う楽しさにステップを踏みながら身体を揺すりながら「翼・・・」を顔が緩み、気持ちよく、歌っていた。音程が取れず歌が苦手だった男の子が歌う事が楽しかったとだんだん大きい声を出していった。先生が講師とコラボするのにベースを持ってとたん女の子たちはははは嬉しいのか嬉しいのかほほを高揚させて手で顔そ多い満面の笑み。後半ギターや珍しい打楽器に触れ音を出して大喜び。ギターを弾いた男の子は真剣に教えてもらっていた。

**香取市 神南小学校** 10月18日(火)  
79人(全学年) 体育  
芸術家: 大淵弘幸 岡本圭  
内容: とんとんば・色鬼・表情伝言ゲーム・なりきりかくれんぼなどの表現遊び

座り方に名前を付けて素早く動くという導入のところから、子どもたちは引き付けられ、表現するのが苦手でシャイな子どもたちとの事だったが、体を使って思い切り表現を楽しんでいた。なりきりかくれんぼでは思いもかけない発想が見られ、大淵さんはそれを丁寧にひろい個々を大切に受け止めていた。普段あまり自分を語らない子が「将来、自分もこんな風にみんなを楽しませる仕事がしたい」との感想を書いてくれて先生方が感動されていた。

**市原市市東第二小学校** 10月27日(木)  
20人(全学年) 音楽  
芸術家: BBモフラン ダウディ 典子  
内容: アフリカパーカッションの実演と歌、たいこの体験

アフリカ地図が描かれたタペストリーでコンゴ、タンザニアを見ながら「アフリカの音楽は、指揮者はいないよ。みんなの中に音楽があるんだ」とモフランさんのほなしを真剣にきいていた。たいこの前に立つと「毛が生えているよ!」とたいこの材料、かたち、ものすごく大きい音にびっくりし、力いっぱいリズムを刻んだ。アンコールでソーラン節を歌うモフランさんに合わせて低学年が思わず踊り始め、踊りは全員に広がった。「大丈夫だよ!と子どものちからを引出す受容感に教師も学んだ」との担任のコメントがあった。



BBモフラン パーカッション体験



落語 おかしくしておながよじれるよ〜

**袖ヶ浦市平岡小学校** 10月19日(水)  
35人(4年生) 国語  
芸術家: 古今亭志ん八 柳家緑太  
内容: 「だれがどこかでいつ何をどうしてどうなった」ゲームで導入。落語の解説。面白さを楽しむ。小唄体験。落語を聞く

導入のゲームで子どもたちは、大笑いで気持ちを開きリラックスした。4年生の教科書に落語が出てくるが、このワークが終わってから1学期にやらずに楽しみに待っていた。落語の洒落の意味がわかると「オー」という喚声が上がって素直に楽しんでいた。小唄の体験でも、多くの子どもが手をあげ「一生に一回かもしれないからやろうぜ」と呼びかけた子もいた。進んで覚えた小唄を家族に聞かせたり、友達同士で教え合ったり興味や関心が高まった

**銚子市 猿田小学校** 10月28日(金)  
8人(4・5・6年生) 音楽  
芸術家: 歌子 びんたろう 上村純  
内容: 歌とギターの実演、感じながら歌おう「翼をください」、発表、楽器体験

テーマは「感じながら歌おう」「翼をください」の歌詞の意味イメージを丁寧に受け止めながら、たった8人の子どもたちとは思えない歌声が会場に響いた。先生方もスタッフも大きな感動をもち、ちよつとうるつときた。歌い終わった子どもたちの自信に満ちた顔。始まる緊張した顔、不安だった顔、特に指揮を任された男の子のやり切った姿に「やったね!」市の音楽祭では、先生も子どもたちもワークで得たことを活かして、舞台にあがった。





朗読 読み方によって変わる詩の楽しさを体験



ニューフィル 美しい音色のオーボエが吹けた！

### 山武市蓮沼小学校 11月2日(火)

25人(3年) 国語  
芸術家：半田晶子  
内容：準備運動(イメージや動き、数のトレーニング、神経を目覚めさせる運動)  
好きな詩を選び劇(表現)で発表

演劇人がやる体操から始まる。おへそを感じて腰を回す、「ぎゃはは・・」笑い声、自分の体なのに思うように動かない。大きな声を出す。「のどが痛ーい！」腹式呼吸でやってみる、明らかに声の出方が変化してきた。詩の発表では身体で表現する事を教えてもらう。難しいけれど想像する楽しさ、お互いの声を意識していく事によってコミュニケーションがとれていく過程を子どもたちは楽しそうに、そして真剣な表情で取り組んでいた。

### 千葉市大宮台小学校 10月31日(月)

26人(4年) 国語  
芸術家：春風亭朝也 古今亭志ん八  
内容：落語の解説 小噺 実演「牛ほめ」「金明竹」 仕草クイズ 小道具を使って落語の仕草を体験 小噺に挑戦

最初の小噺から膝を叩いたり、そっくり返ったりしてよく笑っていた。刀は、目で追ったところが長さになるねと教えてもらい、早速一緒にやっていた。小噺に挑戦では自分で考えた噺や教えてもらった噺を表情豊かに堂々と披露した。2人はテレビに出るの?登場人物が100人いたらどうするの?質問が次々に出て、テレビから出てきたようなプロと出会えたワクワク感が伝わってきた。落語にとっても興味を持ったようだ。



### 鉾子市本城小学校 11月2日(火)

27人(5年生) 音楽  
芸術家：松本伸二 姫野徹 篠原拓也  
内容：オーボエの演奏、オーケストラの話、ストローで音を出す、オーボエを吹いてみる、音楽クイズ、「星笛」合奏

講師の演奏がラストになると「いやだー。もっとききたい」の声があがる。ストローを吹いて音を出す。なかなか難しい。「できたー！」音が出た時の満面の笑顔があちらこちらに。実際にオーボエに触れ音を出してみる。二度とないかもしれない貴重な体験をして音楽に対する興味が深まった。最後にプロの演奏家との合奏に一生懸命リコーダーの練習を重ね、一人ひとりが自信を持って音を出し、みんなの音の一つになって響き渡った。まるでオーケストラの一員になったよう。



◆普段、自己表現が得意ではない子どもも自己解放できている姿がみられた。肌で太鼓をたたき楽しんでいる姿、日本とアフリカの文化のちがいが言葉への興味など、学校はさまざまなことに出会える場、興味関心を広げる場でありたい。地域的に文化芸術的な活動に家庭で参加することが難しい、学校でこうした事業が行われることで、居住地に関係なく誰もが経験することができるので、これからも実施してほしいです。【音楽教科で講師B・Bモフランさん】

### 鴨川市長狭小学校 11月2日(火)

52人(5・6年生) 音楽  
芸術家：B・Bモフラン ダウディ 典子  
内容：アフリカの音楽 パーカッションと歌ピアノで演奏 パーカッション体験  
アフリカのリズムでダンスを踊る

メンバー紹介や出身の国の話を聞き、ライオンキングの演奏がはじまると驚き、歓声があがる。「日本の言葉と同じ言葉がアフリカにもある。意味は違うよ」カタコリ→気をつけて(けがをしないで)マジ→水 みそ→目 マメ→お母さんと紹介。アフリカが急に身近になる。モフランさんたち演奏家の明るくにこやかな雰囲気子どもたちも引き込まれ、ノリノリになり楽しんだ。恥ずかしそうな子にもモフランさんがアドバイスすると、嬉しそうな表情になった。パーカッション体験では「トンカツ食べる」「きゃべつ」先生も子どもも楽しかった。

◆普段の生活の中で落語のおもしろさを自由に話す姿がみられるようになった。プロの表現にふれることは新鮮で魅力的。生の呼吸、目の動き、場の雰囲気、空気の中にある、空気を感ずるということが大きな魅力。指導により実技に挑戦できるのも子どもたちにとって良い体験。しっかりと練習し、言葉を大切にして表現する姿があった。【国語教科、講師古今亭志ん八さん】

## 芸術家派遣事業の魅力 ~学校から~

◆本物の音楽、音楽の世界で生きている方との授業は素晴らしい経験。プロの演奏者の世界に引き込まれて、恥ずかしがらずにリズムののったり、表現したりすることのできる児童が増えた。日常の授業では見せない楽しそうな笑顔やリズムに合わせたステップが見られて、リズムを体感している様子が微笑ましかった。【音楽教科で講師うたこさん】

◆朝の音読の時、口だけ動かしている児童がワークの後から、自分なりに間をとったりするようになった。強弱をつけたり、全員で教科書を読む際、自分の声の大きさを考えたり周囲の人に声を聞き、息を

【国語教科で講師チカパンさん】

【国語教科で講師半田晶子さん】

【音楽教科で講師安西真幸さん】

# NPOではたらく人

だれでも、いつでも、どこでも、よい聴き手と出会える社会目指して

NPO法人 子育てひろば ほわほわ 子育て相談室 いっぽ、いっぽ  
永瀬 春美



「子育てひろば ほわほわ」は、松戸市内で3か所の子育てひろばを展開するNPOです。私自身はいろいろな形で長年育児相談の仕事に携わる一方、保育士養成校で教師をしていた関係で、子どもの心とからだのことや保護者対応などについて支援者向けの講座で講師をしたりしていました。

そんな私と「ほわほわ」のひよんな出会いから4年。ひろば内で気軽にお話をうかがう「なんでも相談」や、予約を受けて個室でじっくり向き合う「子育て相談室 いっぽ、いっぽ（託児付きのカウンセリング）」などの活動も少しずつ周知されるようになってきました。

保護者対象の子育て講座や支援者のための研修で講師を務める機会も増え、「ほわほわ」を通してたくさんの充実感をいただいています。

最近の子育ては一見ラクになったように見えて、実際はとてつもなくつらいものになってきていると実感する日々を過ごす中で、私は「よりよく聴く」ためのスキルと感性を持つ人をたくさん育てたい、そういう人が街中にあふれる社会をつくりたいと強く願う

ようになりました。子ども劇場の活動をなさっている皆さんは、まさにその担い手です。今、子育てがつかい方々を支えることが未来の希望につながっていくと信じて、ともに歩んでいきましょう。

心がつらいとき、だれでも、いつでも、どこでも  
ただ一生懸命に聴いてくれる人に出会える  
そんな社会を遠くに見据えて一歩、一歩  
私は、私ができることをする

意見を言わずアドバイスもせず、説教も励ましもしないで  
ただ一生懸命に聴いてくれる人がすぐそこにいれば  
わかってほしい気持ちをとことん話せる  
少しわかってもらえたら、少し気持ちがラクになる  
つらい人が減って、つらい事件がなくなる

いつか、そんな日が来ますように

(「気持ちに応える子育て支援」永瀬春美 赤ちゃんとママ社より)

# 私からのメッセージ

芸術は、個人の趣味か、社会の基礎か？

人形芝居燕屋 くすのき燕



先日、千葉県センターの依頼で、千葉県内の二つの児童相談所で上演をさせていただきました。どちらも幼児から中学生までが楽しんでくれました。正直、中学生がどれくらい観てくれるのか心配だったのでホッとしました。

僕は、様々な場所で様々な観客と出会います。その多くは子どもたちです。彼らのほとんどは人形劇を楽しみつくしてくれます。この心の動きを全ての子どもたちに体験してほしい。その姿に接する度に、そう強く願います。親の有無や経済状況などに左右されることなく「全ての子どもたちに」です。

先日、ポーランドの人形劇団の演出をする機会を得ました。欧州、とりわけ中東欧では人形劇が盛んです。国によって多少の違いはありますが、それらの国々ではある程度の大きさの都市であれば、公立の人形劇場があり、その劇場には附属の人形劇団がいます。日本で言えば、病院という建物には医師や看護師、それに事務スタッフがいるのと同様に、という事です。

僕が演出をさせてもらったのは、人口約50万人のポズナニ市にあるテアター・アニマツィという市立の

劇団(劇場)。劇場は100年ほど前のお城を改造した文化施設の中にあり、170席・80席・30席の観客席をもつ3つの舞台を持っています。年間500回以上の公演が行われ、その多くは、平日に行われる子ども達のための公演です。市内に住む子ども達は、ここで少なくとも年に1度は観劇の機会を持ちます。つまり「人形劇の観劇が全ての子どもたちを対象にした市の施策としてある」わけです。いくつかの都市の人形劇場にも行きましたが、大体事情は同じようなものでした。

ポーランド経済が日本経済と比べてとりわけうまくいっている、というわけではないと思います。それでも、この国でこれが当たり前のように実現されているのは、医療や教育と並んで、芸術の触れる事が基本的な人権として認識され、社会の基礎としてアートがあるからなのだと感じました。公が何にお金を使うのかは、その国の品格を決める大きな要素かも知れませんが、

演出作品は「PORY ROKU」(季節たち)。以下でチェックできます。  
<http://www.teatranimacji.pl/spektaki/pory-roku/>



## 3歳から6歳の子どもたちのおしごと体験・店長は小学生 「ミニ☆いちかわ in コルトンプラザ」

千葉県現代産業科学館を会場に開催している 子どもがつくるまち「ミニ☆いちかわ」の参加対象が小学生以上となったため、小さな子どもたちが体験できる場として、地元の大型ショッピングセンター「ニッケコルトンプラザ」の全面的な協力を得て昨年から開催しています。  
(特)市川子ども文化ステーション 恩田奈央子

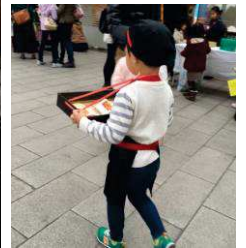
日にち：11月26日(土) 27日(日)  
場所：ニッケ コルトンプラザ  
参加者3歳～6歳：384人  
小学生スタッフ：延べ42人  
運営スタッフ：13人  
当日大人サポーター：延べ約60人  
協力企業&協力テナント：3社&7店舗

■小さな子どもたちも自主的に働くことができる体験を地域のなかでもらいたい、また親たちに子どもがすることを見守る体験をしてもらいたいという思いから、市川子ども文化ステーション会員の幼児がいるママたちが中心となり企画しました。連絡や報告はライングループを使い、協力店舗との交渉から参加申し込み管理等は得意のITを使って、子育ての合間を縫って準備を進めました。市民となるのは幼児ですが、準備は「ミニ☆いちかわ」の4年生以上の子どもスタッフと、市川子ども文化ステーション会員の小学生が店長&副店長となり、やりたいお店や値段、雇う幼児の人数も考えて、協賛店の方との打ち合わせを行いました。

■開催当日、スタッフの大人はなるべく口を出さずに、子どもが困っている時だけフォローすることを第一目標としました。参加者の幼児保護者にもコンセプトを深く理解いただき、「今日は怒ってはいけないのね!」「気をつけようね」などの会話が聞かれました。「怒ってはいけないと聞いたけど少しくらいならせかしてもいいのかな」と確認に来た保護者もいましたが、ここは子どものまちなので「時間が足りなくなって失敗だと思ふことも経験なので、是非せかさないうで見守ってほしい」とお願いしました。

■「ミニ☆コルトン学校」で、幼児にも分かりやすい図を用いた子どものまちの過ごし方を聞き、いよいよスタート!まずは「お仕事センター」に行き、やりたい仕事を探します。お仕事カードを持って働きたい店舗に行き、「働きにきました～」と大きな声であいさつをします。子ども店長&副店長が、幼児にできる範囲を考えながらお仕事を教えてくれます。「いらっしゃいませ～」「おいしいですよ～」「やすいですよ～」と声を揃えて呼び込む幼児の可愛らしい姿がいたる所で見られました。働いた時間をカードに記入してもらい、銀行へ子どものまちの通貨(1分10プチ)に換金しに行きます。プチを使い協賛の各店舗から提供のお店で売っている本物のアイス、ドーナツ、ポテト、えび

せん、駄菓子やジュースを買ったり、ゲームをしたり、工房で作った商品などを購入します。段ボール迷路を作って遊ぶ店や、木材やタイルで自分の好きな物を組み立てる店もあります。女の子にはブレスレットやバスボムを作るのが人気でした。



お客さんが来ない時は「売りにいこう!」とトレイに商品載せて売り歩いたり、『月餅&えびせん』などのお得なセット販売を考案するなど、子ども店長&副店長のアイデアが満載でした。段ボール迷路では「こうしたほうが切れやすいよ」「こっちのほうがかっこいいと思うよ?」と優しくアドバイス。迷路が出来上がると「50プチ払って遊びたい人!」とアトラクションにするなど柔軟な発想が見られました。意外と人気があった市役所では、パンフレットを挟んだり、受付に運んだり幼児が大活躍。お掃除をしたい子も沢山いて2日目には、ほうきとちり取りの数を増やしたほどでした。

■子ども同士のやり取りなので、売るほうも買うほうもゆっくりでした。怒る人がいないので、恥ずかしがりながらも自分の欲しいものを一生懸命に伝える幼児の姿と、それを微笑ましく眺める保護者の姿にほっこりしました。子どもの活動を妨げるような写真撮影は禁止なので、子どもたちの自然な表情を沢山観ることができました。子ども店長&副店長は、小さな子どもたちの憧れの存在だったようで、「小学生になったら店長をやりたい」との感想もいっぱいありました。幼児も小学生も大人もそれぞれが思いっきり楽しめた子どものまち。そして、全てのお店が完売したことも、子どもたちにとって一番の喜びでした。

**編集後記** 昨年は文化庁の事業やそれぞれの事業に東奔西走した一年でした。季節があわただしく過ぎ去っていく中で相模原の事件や福島から避難していた子どもに対するいじめなど、胸が締めつけられるような事が起こりました。社会的に弱い立場の人や子どもたち、誰でもが命を輝かせて生きていく権利があります。今年もまた多くの子どもに関わる皆さんと連携しチルドレンファーストを実現していきます。(綿貫)

# 舞台 なま情報

- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
  - ・ 役員の下見は5名まで無料
  - ・ その子どもは1人1,000円
  - ・ その他は1人2,000円  
(子ども、おとな同額)

## 第83号別冊 <2017年2月～4月>

### 舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 演劇集団 円	古典こてん第二章“小倉百人一首”の巻	2/26	14:00	流山市生涯学習センター	流山	小学生～大人
◇ 劇団うりんこ	はぐれ峠のわらい鬼	3/5	18:15	成田市中央公民館	成田	4才～大人
◇ 劇団うりんこ	妥協点P	3/26	18:00	千葉県教育会館ホール	千葉中央	小4～大人

### 人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形芝居 燕屋	肩掛け人形芝居 ねずみのすもう	2/11	14:00	四街道公民館	四街道	幼児～大人
☆ 人形芝居 燕屋	マイクロディウム STOP! &ねずみのすもう	2/26	15:00	勝田台文化センター	八千代	幼児低学年親子
☆ 人形芝居 燕屋	マイクロディウム STOP! &CON ANIMA	2/26	18:00	勝田台文化センター	八千代	大人
☆ 人形劇団むすび座	地獄八景亡者戯Ⅱじんたろうと眠り竜の巻	3/5	13:30	市川市行徳文化ホールI&I	市川北	5才～大人
☆ 人形劇団紙ふうせん	おむすびころりん他	3/12	11:00	市川市勤労福祉センター	市川北	幼児～大人
☆ 人形劇団プーク	ねずみくんのチョコキ	3/12	15:00	船橋市薬田台公民館	船橋	幼児～小学生
☆ ホケキョ影絵芝居	晴琉屋フン次郎 一人旅ピュ～ 泪鬼	3/12	16:00	勝田台文化センター	八千代	小学校高学年
☆ ホケキョ影絵芝居	晴琉屋フン次郎 一人旅ピュ～ 耳なし芳一	3/12	18:30	勝田台文化センター	八千代	中学生～大人
☆ 人形劇団むすび座	ピノキオ	3/26	14:00	松戸市民会館ホール	まつど	3才～大人
☆ くわえ・ばべつとステージ	ふくろうぼうや月夜のぼうけん	4/22	13:30(予定)	千葉市イオン稲毛文化ホール	千葉北	幼児～大人

### 音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ ビッグホーン・ミュージック	おもしろミュージックランド	2/19	11:15	西白井複合センターレクホール	白井	幼児～大人
♪ 美炎	馬頭琴コンサート	2/26	10:30	勝田台文化センター	八千代	幼児親子
♪ 左手のピアニスト・智内威雄	左手のピアニスト智内威雄	4/30	未定	習志野市民会館	ならしの	小5～大人
♪ 日本サロンコンサート協会	ピアノカの魔術師	4/30	18:00	千葉県教育会館ホール	千葉中央	小学生～大人

### 芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ マジックファクトリー	大人気!アンディ先生の【まじっくしよー!】	2/5	14:00	浦安市民プラザWave101大ホール	浦安	幼児～大人
◎ 松元ヒロ	松元ヒロソロライブinまつど	2/10	18:30	松戸市民劇場	まつど	中学生～大人
◎ パントマイムブラネット	チカパンのいっしょにパントTIME!	2/19	13:00	新習志野公民館	ならしの	3才～小3
◎ クラウンファミリー・プレジャーB	PLE-MIXのコメディアン・シアター	3/4	17:00	佐倉市民音楽ホール	佐倉	3才～大人
◎ 蒼い企画	ピクチャーブック	4/4	19:00	船橋市民文化創造館きららホール	千葉県センター	4才～大人



# きらきらわくわく情報

2017年2月～4月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ およこサークル ぴよんぴよんキッズ	2/2.16,3/2.16	市川市信篤公民館	市川中央	乳幼児の活動
▪ 母と乳幼児のほっとスペース はっぴいスペース	2/2.16,3.2.16,4/6.20	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	2/2.13,3/2.13	袖ヶ浦市神納コミュニティセンター他	袖ヶ浦	
▪ 乳幼児の親子のためのサークル ぶらんこ	2/3.17,3/3	流山市内公民館	流山	
▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば	2/3.17,3/3.17	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 親子クラブ プレンジ	2/3.17,3/3.17	市川市曾谷公民館	市川北	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	2/3.10.17.24,3/3.10.17	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ うどん作り	2/5.12	習志野市谷津公民館	ならしの	
▪ おしゃべりほっとスペース こーひーかつぷ	2/6.20,3/6	市川市菅野公民館	市川北	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日	2/7.21,3/7.4/11.25	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	2/7.28,3/7.14	白井市清水口児童公園周辺	白井	
▪ 乳幼児サークルのびのびキッズ クッキー作り	2/7	成田市内公民館	成田	
▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば	2/9.23,3/9.23,4/13.27	市川市鬼越鬼高地ふれあい館	市川中央	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日	2/9.23,3/9.4/13.27	市川市行徳公民館	市川行徳	
▪ およこふれあい体験あそび Active Kids	2/9.23,3/9.23,4/13.27	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ 乳幼児と親のワークショップ リズム体操	2/9.23,3/2.16	千葉市子ども交流館多目的室	千葉中央	
▪ およこサークル わいわいキッズ	2/10.17.24,3/10.24	市川駅南公民館	市川中央	
▪ およこサークル わくわくキッズ	2/14.28,3/7	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ 乳幼児とママのための居場所 ほわりん	2/16.28,3/16	袖ヶ浦市代宿児童館	袖ヶ浦	
▪ 親子体操とてあそびうた	2/22,3/22,4/26	習志野市屋敷公民館	ならしの	
▪ およこサロン ほっとティーのおへや	2/24,3/24	袖ヶ浦市民会館フリースペース	袖ヶ浦	
▪ いちご狩り	3/1	八千代市周郷農園	八千代	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブいのちの話by助産師	3/5	習志野市谷津公民館	ならしの	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	4/14.21.28	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 子育て広場 はっぱのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ 乳幼児サークル	各月下旬	印西市内集会所	いんざい	
▪ 北総 春の交流会	3/24～26	茨城県あすなろの里	いんざい・成田	
▪ 船橋高学年交流会	3/25～27	千葉市少年自然の家	船橋	
▪ 市川浦安青春交流会	3/25～27	佐倉市草ぶえの丘	市川行徳	
▪ 春の合宿	3/28～29	柏市手賀の丘少年自然の家	流山	
▪ 春の宿泊体験	3/28～29	柏市手賀の丘少年自然の家	八千代	
▪ 高学年遠足	3/31	東京都内・千葉市内	いんざい	
▪ 高学年春合宿	4/1～2	茨城県あすなろの里ロッジ	野田	

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	2/1.3.8.10.15.22.24	四街道市四区集会所	四街道
	▪ リラックスココヨガ	2/3.20,3/9	市川市曾谷公民館	市川北
	▪ おりがみ教室	2/5	印西市内公民館	いんざい
	▪ 親子で味噌作り!	2/5	千葉市誉田公民館	緑区
	▪ ママたちのエアロビクラブ シェイク	2/6.20,3/7	市川市曾谷公民館	市川北
	▪ 親子で生まれ!	2/8	市川市行徳公民館	市川行徳
	▪ バス遠足	2/11	多古町しんのみくうかん	八千代
	▪ 餅をつこう! 豆まきしよう!	2/11	印西市内栗林	いんざい
	▪ 2月あそびの会	2/11	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北
	▪ あそびの時間 星ぞらたんけんお泊り会	2/18~19	茨城県さしま少年自然の家	野田
	▪ アフタフ・バーバン忍者まちははしる	2/18	成田市公津の杜駅周辺	成田
	▪ アフタフ・バーバン親子でまるごと忍者修行	2/19	成田市公津の杜コミュニティセンター	成田
	▪ 月例自然遊び体験 空き缶ラーメン	2/19	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 小学生あつまれ!	2/24	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	3/1.3.8.10.15.22	四街道市四区集会所	四街道
	▪ 子どもから大人まで遊ぼう! あそびの会	3/12	流山市内公民館	流山
	▪ 月例自然遊び体験 おもちつき	3/12	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 春のバザー&まつり	3/19	市川市行徳駅前公園	市川行徳
	▪ こどものまち スマイルグリーンシティ	3/19	千葉市あすみが丘パーズモール	緑区
	▪ こどものまち スマイルグリーンシティ	3/20	千葉市あすみが丘プラザ	緑区
	▪ 子ども風呂敷市	3/20	勝田台文化センター	八千代
	▪ ふしぎな!? デイキャンプ	3/25	成田市近郊公園	成田
	▪ 劇団風の子探偵ごっこ	3/28	八千代市内小学校	八千代
	▪ お花見(あしあとくらぶ&幼児&低学年)	3/31	印西市船穂コミュニティセンター	いんざい
	▪ 3月あそびの会 パームクーヘン作り	3月	千葉市100万本こもれびの里	千葉北
	▪ 春の風まつり2017	4/16	船橋市アルビス前原中央公園	船橋
	▪ あそびの時間 親子バス遠足	4/23	栄町房総のむら	野田
	▪ こどもまつり2017	4/23	八千代市内小学校	八千代
	▪ あそびっく デイキャンプ	4/29	船橋県民の森	白井
	▪ こどもまつり2017	4/29	佐倉城址公園本丸跡	佐倉
	▪ 進級進学祝い	4/29	印西市内公民館	いんざい
▪ 4月あそびの会	4月	未定	千葉北	
講演会・学習会 ワークショップ	▪ 輝け! 船橋の子どもたち 増山均さん講演会	2/5	船橋市勤労市民センターレク室	船橋
	▪ チャイルドライン千葉 受け手ボランティア養成講座	2/23,3/9,23,4/7,20,5/11,25,6/8,22,7/6	船橋市中央公民館他	千葉県センター
	▪ うまれるってステキふしぎ 親子ワークショップ	3/4	野田市総合福祉会館	野田
	▪ おかしな!? お菓子なぼうし作り	3/4	千葉ニュータウン中央駅前地域交流館	いんざい
	▪ 「チカパンのいっしょにパントTIME」事後交流ワークショップ	3/19	習志野市谷津コミュニティセンター	ならしの
	▪ チカパンとパントマイムであそぼう♪	4/16	千葉ニュータウン中央駅前地域交流館	いんざい



## 子どもと文化 イベント情報

- ◆ **増山均さん講演会**  
「輝け！船橋の子どもたち」  
2月5日(日)13:15開始  
場所：船橋市勤労市民センター レク室  
対象：学生・大人  
資料代：500円  
主催/輝け！船橋の子どもたち実行委員会  
問合せ/(特)船橋子ども劇場  
Tel.047-424-0851
- ◆ **人形劇 ミクロボディウム日本ツアー**  
ミクロボディウム&人形芝居燕屋  
「STOP! &ねずみのすもう」  
～ハンガリーと日本の小さな舞台～  
2月26日(日)15:00開演  
対象：幼児低学年親子  
参加費：2,000円  
主催/(特)子どもネット八千代  
Tel.047-486-4699
- ◆ **ネットでつながるチャイルドライン**  
オンライン相談トライアル  
聴き手と1対1で話せる18才までの  
子ども専用チャットです。  
まわりの子どもたちにお知らせください。  
3月13日(月)～20日(月)16:00～21:00  
利用料無料(パケット料金がかかる場合があります)  
問合せ/(特)チャイルドライン支援センター  
Tel.03-5312-1886
- ◆ **松元ヒロソロライブinまつど**  
2月10日(金)18:30開演  
場所：松戸市民劇場  
対象：中学生以上  
参加費：大人2,300円 ベア券4,000円 中高生1,300円  
当日 ベア券なし、大人・中高生は200円増し  
主催/(特)子どもっとまつど  
Tel.047-344-2272
- ◆ **クラウンファミリープレジャーB**  
「PLE-MIXのコメディシアター」  
個性豊かな3人組がアクロバット、  
ジャグリング、パントマイム、大きな  
影絵など幻想的な作品を届けます。  
3月4日(土)16:30開場 17:00開演  
場所：佐倉市民音楽ホール  
対象：3才～大人(3才以上入場可)  
参加費：1,900円  
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション  
Tel.043-487-1655
- ◆ **人形劇団むすび座**  
「ピノキオ」鑑賞会  
3月26日(日)14:00開演  
場所：松戸市民会館ホール  
対象：3才～大人  
参加費：大人1,800円 子ども(3才～小学生)  
1,000円、当日は200円増し  
主催/(特)子どもっとまつど  
Tel.047-344-2272
- ◆ **ママパパラインちば**  
6日間全国キャンペーン  
(Tel.043-204-9390)  
子どもを持つママ・パパ・家庭の子育ての  
悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。  
安心してゆっくりお話しください。電話だからこそ  
何でも言える。気軽にダイヤルを！  
2月13日(月)～18日(土)10:00～16:00  
主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
Tel.043-301-7262
- ◆ **チャイルドライン千葉 ママパパライ**  
ンちばを応援するチャリティ公演  
蒼い企画「YEN TOWN FOOLS  
ーピクチャーブッカー」  
4月4日(火)18:30開場 19:00開演  
場所：船橋市民文化創造館きららホール  
対象：4才～大人  
参加費：大人2,800円 子ども(4才～18才)  
1,800円、当日は100円増し  
主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
Tel.043-301-7262
- ◆ **ママパパラインちば**  
6日間全国キャンペーン  
(Tel.043-204-9390)  
子どもを持つママ・パパ・家庭の子育ての  
悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。  
安心してゆっくりお話しください。電話だからこそ  
何でも言える。気軽にダイヤルを！  
2月13日(月)～18日(土)10:00～16:00  
主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
Tel.043-301-7262
- ◆ **チャイルドライン千葉**  
第11期受け手ボランティア養成講座  
日程：2/23、3/9,23、4/7,20、5/11,25、  
6/8,22、7/6 他9月まで全13回  
場所：船橋市中央公民館他  
対象：60才代まで  
参加費：全13回12,000円  
1回から6回は公開講座でどなたでも受講できます。  
(1公開講座につき資料代1,500円)  
主催/(特)子ども劇場千葉県センター  
Tel.043-301-7262
- ◆ **人形劇団むすび座**  
「地獄八景亡者戯Ⅱじんたろうと  
眠り竜の巻」鑑賞会  
じんたろうがタイムスリップして  
巻き込まれたのは戦争という地獄…。  
たくさん子どもと大人に観てほしい。  
3月5日(日)13:30開演  
場所：市川市行徳文化ホールI&I  
対象：5才～大人(5才以上入場可)  
参加費：1階席は大人2,500円  
5才～高校生1,500円 親子ペア3,800円  
2階席は大人2,000円 5才～高校生1,000円  
主催/(特)市川子ども文化ステーション  
Tel.047-339-7744
- ◆ **チカパンとパントマイムであそぼう!**  
チカパンと一緒にパントマイムを行い、こ  
とばを使わない表現を親子で楽しみます。  
4月16日(日)12:00～17:00の間で予定  
千葉ニュータウン中央駅前地域交流館ホール  
対象：親子  
親子1,200円 子ども800円(4才以上有料)  
「チカパンの大道芸!!」は5月27日(土)15:00予定  
主催/(特)いんざい子ども劇場  
Tel.0476-46-6287
- ◆ **演劇集団円鑑賞会**  
「古典こてん第二章 小倉百人一首の巻」  
2月26日(日)13:45開場 14:00開演  
場所：流山市生涯学習センターA101～103  
対象：小学生～大人  
参加費：1人券1,800円 ベア券3,000円  
当日は1人券のみ 2,000円  
主催/古典こてん実行委員会  
共催/(特)流山おやこ劇場  
Tel.04-7152-0446
- ◆ **人形劇団むすび座**  
「地獄八景亡者戯Ⅱじんたろうと  
眠り竜の巻」鑑賞会  
じんたろうがタイムスリップして  
巻き込まれたのは戦争という地獄…。  
たくさん子どもと大人に観てほしい。  
3月5日(日)13:30開演  
場所：市川市行徳文化ホールI&I  
対象：5才～大人(5才以上入場可)  
参加費：1階席は大人2,500円  
5才～高校生1,500円 親子ペア3,800円  
2階席は大人2,000円 5才～高校生1,000円  
主催/(特)市川子ども文化ステーション  
Tel.047-339-7744
- ◆ **あそびの時間 親子バス遠足**  
4月23日(日)9:30～16:00  
場所：柴町房総の村 対象：小学生の親子  
参加費：大人2,000円 子ども1,000円  
主催/(特)野田子ども劇場  
Tel.04-7124-8419
- ◆ **劇団うりんご鑑賞会**  
「はぐれ峠のわらい鬼」  
泣いて笑って少し切ない昔々の物語  
3月5日(日)18:00開場 18:15開演  
場所：成田市中央公民館  
対象：4才～大人(4才以上入場可)  
参加費：1人券2,000円 2人券3,600円  
3人券5,400円  
主催/(特)子どもプラザ成田  
Tel.0476-29-1387
- ◆ **こどもの人権カフェ木下勇さん講演会**  
「子どもにやさしいまち」ってなに？  
4月8日(土)13:00～15:30  
千葉市Qiball11階中央保健福祉センター大会議室  
参加費：500円(子ども・学生無料)  
主催/こどもの人権カフェ実行委員会  
事務局/(特)千葉こどもネット  
Tel.043-266-8419 Fax.266-2359

※(特)は特定非営利活動法人を略しています  
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは  
各主催団体をお願いします。

	団体名	Tel.	団体名	Tel.	
●	NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	●	NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387
●	NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	●	千葉西おやこ劇場	043-272-1416
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	●	NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	●	千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	●	NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	●	NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
●	NPO法人 子どもっとまつど	047-344-2272	●	NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
●	浦安子ども劇場	080-6651-9175	●	やちまたおやこ劇場	043-442-3257
●	NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	●	NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
●	NPO法人 ならし子ども劇場	047-451-3676	●	NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
●	白井子ども劇場	047-491-2163	●	NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
●	NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	●	NPO法人 里山会	047-482-4613
●	NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	●	千葉県子ども核廃	047-457-2065
●	NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	●	NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262